

新学術領域研究「量子液晶の物性科学」量子物質開発フォーラム

日時：2020年10月1日（木）～10月2日（金）両日とも13:00～16:30

会場：Zoomを利用したオンラインミーティング

言語：発表は日本語(スライドは英語),

招待講演「発表25分+質問5分」、一般講演「発表15分+質問5分」

プログラム

10月1日（木）

座長：菅 大介（京大化研）

13:00-13:05 はじめに, 大串 研也（東北大院理）

13:05-13:25 平井 大悟郎（東大物性研）

“5dダブルペロブスカイト $\text{Ba}_2\text{MgReO}_6$ における多極子秩序の観測”

13:25-13:45 石田 茂之（産総研）

“磁性超伝導体 $\text{EuRbFe}_4\text{As}_4$ における磁性と超伝導の相互作用”

13:45-14:05 小野瀬 雅穂（阪大院基礎工）

“ペロブスカイト型鉄酸化物 $(\text{Sr}_{1-x}\text{Ba}_x)_{2/3}\text{La}_{1/3}\text{FeO}_3$ におけるスピン・電荷変調の解明”

14:05-14:25 清水 宏太郎（東大院工）

“スピンモアレによる創発電磁場とトポロジカル転移”

14:25-14:45 山川 洋一（名大院理）

“遷移金属ダイカルコゲナイドにおける非従来型電荷秩序の微視的理論”

14:45-15:00 休憩

座長：青山 拓也（東北大院理）

15:00-15:30 山本 隆文（東工大フロンティア研）

“アニオンに着目した物質探索”

15:30-15:50 田財 里奈（名大院理）

“強相関電子系における各種カレント秩序相の微視的機構の研究”

15:50-16:10 近藤 雅起（阪大院理）

“層状ディラック磁性体 BaMnBi_2 における面内極性歪に敏感なスピン・バレー結合状態”

16:10-16:30 今井 良宗（東北大院理）

“新しいキタエフスピン液体候補物質ルテニウムハライドの高圧合成”

10月2日(金)

座長：平井 大悟郎 (東大物性研)

13:00-13:20 伊豫 彰 (産総研)

“アンチペロブスカイト型リン化合物 CaPd_3P に誘起される構造相転移と超伝導”

13:20-13:40 横山 泰範 (名大院工)

“一硫化サマリウム SmS の価数転移と負熱膨張”

13:40-14:00 山田 林介 (東大院工)

“強相関ディラック半金属 CaIrO_3 の量子極限における擬一次元状態”

14:00-14:20 木村 健太 (東大院新領域)

“磁気四極子型反強磁性体の開発と非相反光学応答の発見”

14:20-14:40 浦田 隆広 (名大院工)

“局所反転対称性の破れに起因する新奇伝導現象を発現する Mn ニクトゲン化合物の探索”

14:40-15:00 休憩

座長：木村 健太 (東大院新領域)

15:00-15:30 菅 大介 (京大化研)

“原子レベルで構造制御した酸化物におけるスピントロニクス物性開発”

15:30-15:50 メイヨー アレックス浩 (阪大院基礎工)

“層状半金属 $\alpha\text{-EuP}_3$ におけるバンド・トポロジーの磁気制御”

15:50-16:10 松原 舜 (名大院理)

“異方的超伝導体のエッジに誘起される奇周波・トリプレット s 波超伝導の理論”

16:10-16:30 中島 正道 (阪大院理)

“二軸歪みを用いた FeSe 単結晶の物性制御”